



令和5年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年5月11日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 掛川 洋一 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 令和5年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第2四半期の連結業績(令和4年10月1日~令和5年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第2四半期	4,039	20.4	249	—	264	△23.5	210	△18.1
4年9月期第2四半期	3,355	19.0	△14	—	346	—	256	—

(注) 包括利益 5年9月期第2四半期 198百万円(△16.0%) 4年9月期第2四半期 236百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第2四半期	23.66	23.63
4年9月期第2四半期	29.05	28.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第2四半期	4,470	1,628	35.1
4年9月期	4,417	1,426	31.0

(参考) 自己資本 5年9月期第2四半期 1,569百万円 4年9月期 1,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
5年9月期	—	0.00	—	—	—
5年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点におきましては、令和5年9月期期末配当を未定とさせていただきます。配当の見通しが得られ次第、速やかにお知らせいたします。

3. 令和5年9月期の連結業績予想(令和4年10月1日~令和5年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,252	19.6	111	—	121	△55.7	103	△15.1	11.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	5年9月期2Q	8,978,800株	4年9月期	8,978,800株
② 期末自己株式数	5年9月期2Q	87,607株	4年9月期	87,607株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	5年9月期2Q	8,891,193株	4年9月期2Q	8,840,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、卸売事業、加工事業、養殖事業を垂直に展開する6次産業化を推進しております。その目指すところは、SCM（サプライチェーンマネジメント）力のある垂直統合型の総合水産企業の展開です。目的は、グループ飲食店舗のお客様、外販先（飲食業者、小売業者、卸売業者等）とダイレクトに情報共有することで、すべての事業においてお客様視点に基づき、生産・物流等の業務改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造にあります。

当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMを生かした最適な食材調達と職人の技を駆使した満足度の高い飲食・商品の提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場に向けた水産物の事業展開を図るべく米国ニューヨーク（以下：NY）に出店しているシーフードレストランの営業は順調に推移しております。

当第2四半期においては、本格的な「アフターコロナ」の環境下、我が国への海外からの旅行者が増加傾向を示し、国内の消費行動もさらに活発化してきています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高40億39百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益2億49百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益2億64百万円（前年同期比23.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億10百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、売上高を前年同期と比較すると、第2四半期の伸びが第1四半期を上回りました。これは、海外からの旅行者の需要が顕在化してきたことと、「ふぐバ」（※）の促進を図ってきた効果で、とらふぐ料理の「持ち帰り」と「デリバリー」の売上高が伸びたことによります。

「寿し常」においても、急増するインバウンド需要を取り込む施策を打ったことと、季節ニーズを捉えたお持ち帰り（恵方巻、お花見、ひな祭り）の強化戦略により、当第2四半期売上高は前年同期を上回りました。

NYはインフレによる消費減速の影響を受けレストランが淘汰されている中であって、NYの「シーフードレストラン WOKUNI」の当第2四半期の売上高は前年同期を大幅に上回りました。自社平戸養殖場から直送の本まぐろを使った「Tuna Auction」イベントはこの3月で通算40回目を記録し、NYにおいて日本の水産物訴求イベントとしてオンラインの存在となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高36億29百万円（前年同期比27.5%増）、セグメント利益1億99百万円（前年同期はセグメント損失71百万円）となりました。

(外販事業)

養殖・卸売部門においては、「平戸本まぐろ極海一番」の養殖生産は順調に推移しておりますが、新型コロナウイルス発生時期のまぐろ稚魚池入れ尾数が少なかったことにより、当第2四半期の本まぐろの売上高、利益額ともに前年同期より減少いたしました。平戸養殖場では、SDGs14の「海の豊かさを守る」の当社ゴールを目指す活動を継続しております。この活動の一環としての「近大の人工種苗マグロ」（今期導入）の養殖生産も順調に推移しております。

また、東京塩浜の加工部門における「とらふぐ身欠き」の販売は順調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における外販事業は、売上高4億10百万円（前年同期比19.3%減）、セグメント利益43百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

※おうちでの「とらふぐパーティー」促進のための登録商標。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、25億25百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少41百万円、売掛金の増加54百万円及び仕掛品の増加47百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、19億44百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定の増加18百万円、減価償却費の計上による減少30百万円及び敷金及び保証金の減少16百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、13億17百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加74百万円及び未払金の減少28百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて2億22百万円減少し、15億24百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少2億28百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて2億2百万円増加し、16億28百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加2億10百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得することで、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,826,527	1,784,597
売掛金	235,448	290,310
仕掛品	190,941	238,449
原材料	81,359	81,551
未収入金	14,210	27,694
その他	104,586	103,217
流動資産合計	2,453,073	2,525,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,578,507	1,583,331
減価償却累計額	△1,219,993	△1,242,456
建物及び構築物(純額)	358,513	340,874
機械装置及び運搬具	53,784	53,474
減価償却累計額	△42,267	△44,057
機械装置及び運搬具(純額)	11,516	9,416
工具、器具及び備品	423,558	426,172
減価償却累計額	△391,024	△397,300
工具、器具及び備品(純額)	32,534	28,872
土地	883,878	883,878
有形固定資産合計	1,286,443	1,263,041
無形固定資産		
ソフトウェア	20,618	18,207
ソフトウェア仮勘定	5,853	24,179
無形固定資産合計	26,471	42,387
投資その他の資産		
敷金及び保証金	550,849	534,443
長期貸付金	300	-
破産更生債権等	21,478	21,478
繰延税金資産	21,685	33,567
その他	147,718	139,589
貸倒引当金	△90,412	△89,843
投資その他の資産合計	651,618	639,234
固定資産合計	1,964,533	1,944,663
資産合計	4,417,606	4,470,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,778	209,188
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	324,449	398,765
未払金	258,107	230,048
未払法人税等	91,249	70,691
賞与引当金	8,160	22,509
その他	170,300	186,461
流動負債合計	1,245,045	1,317,664
固定負債		
長期借入金	1,682,148	1,453,860
資産除去債務	40,746	38,696
その他	23,638	31,904
固定負債合計	1,746,533	1,524,461
負債合計	2,991,578	2,842,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,240	517,240
資本剰余金	419,240	419,240
利益剰余金	454,756	665,129
自己株式	△30,382	△30,382
株主資本合計	1,360,855	1,571,228
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,401	△1,285
その他の包括利益累計額合計	10,401	△1,285
新株予約権	54,771	58,413
純資産合計	1,426,028	1,628,357
負債純資産合計	4,417,606	4,470,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	3,355,506	4,039,712
売上原価	1,306,576	1,534,337
売上総利益	2,048,929	2,505,375
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	592,769	630,223
雑給	227,849	298,693
賞与引当金繰入額	22,147	22,274
広告宣伝費	582	1,108
販売促進費	40,691	53,811
地代家賃	407,243	414,224
減価償却費	30,492	28,594
その他	741,977	807,110
販売費及び一般管理費合計	2,063,754	2,256,041
営業利益又は営業損失(△)	△14,824	249,334
営業外収益		
受取利息	80	19
協賛金収入	5,900	6,629
為替差益	4,511	-
受取家賃	6,609	2,658
助成金収入	335,358	16,272
受取保険金	2,836	16
その他	21,159	8,105
営業外収益合計	376,456	33,701
営業外費用		
支払利息	10,164	9,544
為替差損	-	4,848
貸倒引当金繰入額	-	3,150
開業費償却	5,278	-
その他	-	509
営業外費用合計	15,443	18,052
経常利益	346,187	264,983

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	63	69
新株予約権戻入益	261	-
特別利益合計	325	69
特別損失		
店舗休業損失	6,799	-
固定資産除却損	329	20
固定資産圧縮損	5,433	-
訴訟関連損失	-	8,161
特別損失合計	12,562	8,181
税金等調整前四半期純利益	333,950	256,871
法人税、住民税及び事業税	80,075	58,380
法人税等調整額	△2,964	△11,882
法人税等合計	77,111	46,498
四半期純利益	256,838	210,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,838	210,373

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
四半期純利益	256,838	210,373
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△20,426	△11,686
その他の包括利益合計	△20,426	△11,686
四半期包括利益	236,412	198,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,412	198,686
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。